

平成26年4月8日

各都道府県小学校長会長 様

全国連合小学校長会長 堀竹 充

東日本大震災被災県に対する支援のお礼並びに 今後の支援の在り方について

各都道府県小学校長会の皆様方には、日頃より全連小活動の担い手として、多くのご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から3年が過ぎました。この間、全連小としては、全力で物心両面にわたり被災県校長会を支援して参りました。全連小を通して全国から寄せられた義援金は、1億五千万円を超えました。また、数回にわたって現地見舞・視察を行うとともに、被災県校長会との懇談会を実施し、情報収集・情報交換に努めてきたところです。

被災地復興には、まだまだ課題が山積している現状ではありますが、ここで、とりあえず一区切りとして、「今後の被災地支援の在り方」について、3月11日の常任理事会で、別添の通り、方針を決定しました。ご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、全連小として義援金をまとめることは終了しますが、各県並びに各会員からの支援を拘束するものではありません。今後も、本会として、被災県校長会との連携のもと、関係機関等への働きかけを一層強力に推進することをお誓いし、報告並びにお礼とさせていただきます。

平成25年度 東日本大震災 義援金収支報告 (単位は円)

収入	193,189
支出	193,189
残高	0
<内訳>	
収入総額	193,189
第65回総会募金	82,082
各県より	8,735
第一公報社より	102,000
利息	372
支出総額	193,189
被災地小学校へ	90,000
福島県小学校長会へ	103,189

平成26年3月11日
対策部長 高橋 俊明

今後の被災地支援の在り方について

全国連合小学校長会は、東日本大震災が発生して以来、被災地を訪問して被災状況を会員に伝え、会員から義援金を募るなどして、被災地の小学校及び校長を支援してきた。

被災から3年を経過した現在、被災県校長会の意向も踏まえ、会員からの義援金募金活動を終了し継続的な支援へ切り替えることにしたい。なお、義援金残額 103,189円については福島県校長会に全額寄贈し、全連小としての義援金銀行口座は閉鎖する。

今後の支援策は以下の通りとしたい。

- 1 震災体験を風化させないため、理事会等で被災県校長会から現状報告を受ける機会を設ける。
- 2 毎年、被災3県校長会との懇談会を実施し、現状把握と要望等の聞き取り及び情報交換を行う。
- 3 当分の間、被災県への教育復興の状況視察を継続する。
- 4 収集した情報等を基に、国や自治体及び関係機関等への要望・要請活動を強化する。
- 5 今後の新たな支援策等の検討、対応については部長会がその事務を行う。